

12月1日、地域包括ケア人材育成センターを開設します

市では、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体で提供する地域包括ケアを推進しています。今後、団塊世代が75歳以上となる2025年に向けて高齢者が増加することで、介護サービスを担う（介護）職員が1.31倍増やす必要があると見込んでいます。福祉人材は、障害者福祉や地域福祉でもこれまで以上に必要で、人材不足が課題となっています。



困っている人をまちぐるみで支え合うため、地域で働く介護人材を見つけ出し、また、働く場の情報を提供する、そして、福祉に関わる事業所や団体を支援する「地域包括ケア人材育成センター」を開設し、運営を公益財団法人武蔵野市福祉公社に委託します。

◎主な役割

<活かす>仕事をしたい人の養成を行います。

- ・「介護初任者研修」「認定ヘルパー養成研修」などを行います。

<育てる>従事する人の能力を伸ばす研修や、従事する上での困り事の相談などのサポートをします。

- ・テーマに沿って行う技術向上の研修などを行います。また、新たに、資格を持っている人の復帰のための研修や、喀痰吸引などのより高度な技術の研修を行います。
- ・ハラスメントなど従事者が抱える悩みの相談を受け付けます。必要に応じて弁護士などの専門家につなげていきます。

<つなぐ>働きたい人の就職を支援します。

- ・市やセンターで行う研修を逐次ホームページでお知らせします。
- ・介護などの職場について知っていただくための「お仕事フェア」や、働きたい人のための「就職相談会」を行います。

<支える>福祉に関わる事業所や団体を支援します。

- ・従事者はもちろんのこと、管理者や経営者の方のためにも研修を行います。
- ・それぞれの事業所の求人情報を、ホームページなどで提供します。

◎地域包括ケア人材育成センター運営概要

運営日時：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時30分～午後5時15分
住所：武蔵野市吉祥寺北町1-9-1福祉公社内